

## 閉会の挨拶

浅田 昭(東京大学生産技術研究所 教授/研究交流部会長)

本日は、生産技術研究所、第14回の学術講演会として、「都市とインフラの安全性とその管理」ということで8名の先生方にご講演をしていただきました。先ほども話がありましたが、新しく4月から都市基盤安全工学研究センターが設立される計画もあります。こういう統一の課題に対して工学研究のあり方がどうあるべきか、都市とインフラの安全性に関連して事故とかいろいろ起きているわけですが、なぜこのような事故が発生したのか、どのように管理すれば今後事故を防げるのか、またどのようにして安全性を確保していくべきかというような観点から、皆さんがこういった統一的な観点から8つの講演、非常に中身の濃い話をしていただきました。

もう一度振り返ってみますと、まず最初に岡田先生からは「建築構造物の設計基準と安全工学」ということで、第3期の設計基準に現在来ており、その重要性について話されました。

2番目として須田先生から、日比谷線の脱線事故に関連し、どうしてこういう事故が起こったのか、徹底的に原因を究明して、今後どういうふうになれば、事故がなくせるのか、そういった研究をしていくことが重要であるという話がされました。

3番目として柴崎先生からは、都市の安全評価を支えるうえで3次元の地図作りが非常に重要であり、「3次元都市空間情報の現状と展望」というテーマで、地図作りの現状と、これからの技術開発について話がされました。

午後にはいり、藤森先生からは「道路と路上」ということで人間の感覚、視覚、体感、そういったものと道路との関係、また道路の概観、そういったものを考えていかなければいけない、道路のあり方を考え始めてまだ150年ぐらいであって、我々はまだ発展途上であるというような紹介がされました。

次に目黒先生からは、阪神・淡路大震災に対して、これから学ぶ教訓というか、地震が起こって5分間ぐらいの間に92%から96%の方が亡くなられた。ということから防災対策について何をすべきかということが話されました。

次に迫田先生からは、「化学物質の環境影響評価と管理」ということで、化学物質について都市との関連、水道との関連について安全管理、そういった部分について話されました。

ヘラート先生には、「アジア諸都市の洪水という安全上の課題」ということで講演され、最後に魚本先生から、コンクリート構造物について、剥落とそのメンテナンス、それと新しくできるセンターについて紹介されて、今後このような形でやっていきたいという所信表明もなされました。

今回は8名の講演者の方に非常に有益な話をしていただくとともに、多くの方々に熱心に聴講および議論をしていただきました。成功裡に終わったと思います。皆様どうもありがとうございました。

(了)